

山鹿中学校便り「チャレンジ&エラー」

令和4年5月23日(月)

No.2 文責 藤島浩一

体育大会 あっぱれ!!! 山中生



午後からのスタートとなりました。午後からは天候にも恵まれ、最高のコンディションで実施できたことは何よりです。さて、今回は、体育委員会や生徒会執行部が計画や大会準備、当日の運営等に主体的かつ意欲的に取り組んでくれました。当然、計画、準備、運営、反省には時間が必要です。日頃の生活時間に加え、体育大会に向けた練習時間、さらには全校や学年をリードするための準備時間等と大変な労力があつたことと思います。しかし、それを見事にやりとげたことは立派な事実です。その取り組みは、新たな山鹿中学校の「伝統」を築きあげてくれたと思っています。なにより、全校生徒が自分たちの体育大会として捉え、リーダーを中心に各クラス、各学年が一致団結して取り組んでくれたことが素晴らしいです。このことは、学年の枠を超えた応援の姿であったり、生徒同士、賞賛したりいたわりの言葉かけや笑顔で讃え合ったりしている姿からうかがえました。また、苦しみや失敗があつても安心して仲間とともに楽しんでいるという印象を強く感じました。この印象は、多くの保護者の方々や教育委員会、教育事務所の教育関係者からも聞くことが出来ました。山中生「あっぱれ!!!」「お見事」です。PTA役員の方々のご協力や先生方が生徒達に寄り添って対応してくれたことが体育大会の成功にもつながっています。お世話になりました。※体育大会後、5月20日(金)現在、体育大会による保護者や生徒達のコロナ感染情報はありませぬ。参加や観戦制限のご協力により、感染を抑えることが出来ています。ご協力に感謝です。

県婦人会大会で合唱部、太鼓部、吹奏楽部が出演

4月7日(土)に熊本県婦人会大会が八千代座で開催されました。昨年度、山鹿市婦人会事務局からは是非、本大会で山鹿中学校の生徒さんの全国レベルの歌声や演奏を聞かせてほしい。きっと参加者が元気になるからと出演依頼があつていました。生徒達は、日々の部活動で練習に磨きをかけ取り組んできました。当日は、各部の保護者の方々にも協力いただき、多くの方々を前にして、演奏と歌声を披露しました。心にしみ込む歌声、迫力の太鼓、心豊かにつながる演奏で会場の参加者から割れんばかりの拍手をいただきました。中には、立って拍手をする姿も見受けられるほどでした。お見事!!!! 何よりもうれしかったのが、各部の準備による時間の間を、前の発表した部がつかないでくれたことです。そして、吹奏楽部の最後の演奏時には、出演していた太鼓部や合唱部もステージに立ち、一緒になって共演し盛り上げてくれました。まさに、チーム山鹿中学校の発表でした。その姿に、「感動しました」「涙がこぼれました」「いいものを聞かせていただきました」「大会に参加してよかったです」と参加者から賞賛をいただきました。きっとみんなの姿と歌声や演奏は一生忘れられないと思います。山鹿中学校の頑張りを熊本県中に発信してくれた合唱部、太鼓部、吹奏楽部お疲れ様でした。そしてありがとうございました。今後の活躍を期待しています。



6月は「心のきずなを深める月間」、そして「山中命の日」が8日(水)です。「食育月間」です。

「心のきずなを深める月間」は、以前、「いじめ根絶月間」と言っていました。いじめをなくしていこうとする取組であり、未然防止として「仲間づくり」や「人間関係づくり」にも取り組んでいきます。今年も日々の授業や委員会活動及び学級での取組を通して仲間との絆を深めていく取り組みを行っていきます。また、6月は、食育月間であり、食について考えるとともに見直す機会とし、これからの生活につながればと思います。

山鹿中学校では、毎年6月8日を「命の日」として全校生徒で命の大切さを考え再認識する日として取り組んでいます。詳しくは、各学級便り等で記載されると思います。命を大切にするには、例えば植物や動物の命に触れて、生きていたときの喜びと死んで離れていく時の悲しみを繰り返し体験することだと思います。ご家庭でも話題にし、話し合ってもらえたら幸いです。